



TITLE:

双子のマメトマト果実

AUTHOR(S):

小林, 亜玲; 久保田, 信

CITATION:

小林, 亜玲 ...[et al]. 双子のマメトマト果実. くろしお 2005, 24: 15-15

ISSUE DATE:

2005

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188203>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

双子のマメトマト果実

Arei KOBAYASI and Shin KUBOTA : Twin fruits of mini-tomato

小林亜玲 * ・ 久保田 信 **

2005 年 4 月 5 日に和歌山県西牟婁郡白浜町のスーパーマーケットで購入したマメトマト *Lycopersicum esculentum* Mill. var. *cerasiforme* (Dunal) (= チェリートマト, プチトマト, ミニトマトなど) 果実の中の 1 個が、互いに癒着しないで根元で完全に分かれて実った双子状態 (図 1) になっている珍しい事例に再び遭遇したので報告する。1 対の液果は、前報 (久保田, 2003) と同様に、どちらもほぼ等大で正常の大きさと色 (橙赤色) であった。初例との相

違は、今回の双子果実の萼片が、先が二股になっている部分もあったものの 5 本と通常の数であり (図 2)、初例が 8 本で異数であったのと異なっていた。

このような「双子」ができた原因は、前報 (久保田, 2003) で推定したように、対生 (または互生) する総状花序の枝梗の 2 本が正常に分かれることなく癒合し、それぞれに果実が癒着しないで結実したことによる。

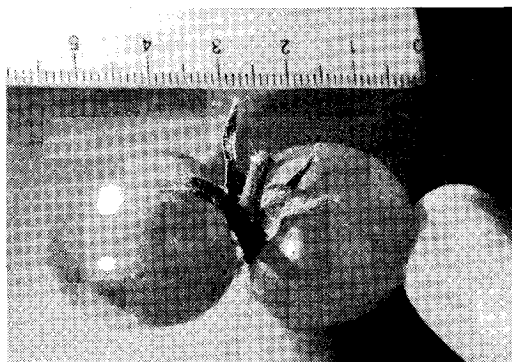


図 1, 2. 双子のマメトマト果実 Two views of twin fruits of mini-tomato

引用文献

久保田信, 2003 : 双子のマメトマト果実. くろしお, (22), 23.

*, ** 京都大学フィールド科学教育研究センター
 海域ステーション瀬戸臨海実験所
 (〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459)